

2023/06/18(日)～19(月) 浅草岳・守門岳<sup>すもん</sup>(ヒメサユリを見に)

メンバー:L 辻・福田・有賀・会員外 1

### 【1日目 浅草岳】

新潟の魚沼へヒメサユリを見に。浅草岳、守門岳の2座をめざす。梅雨なのに2日共奇跡の晴れ予報。70台収容の駐車場はすでに7～8割埋まっており、遠くの県外車多数。登山口に数人いたのは来週開催予定のトレラン準備の人達、ルート案内の設置だった模様。

ロコミ通り急登でどろどろ、滑り易い登山道。下ってきた何名かに「ヒメサユリ情報」聞くも「未だつぼみ。咲いてない」とのがっかり情報ばかり。気落ちしながら登っていくと確かにピンクのつぼみばかり。1時間くらい登った辺りについに開花したヒメサユリ1輪発見!「やっと会えた!」ここぞとばかりに写真を撮りまくる。

前岳～浅草岳山頂まではイワカガミ、マイズルソウ、ムシカリ、ツクバネソウ、ミツバノバイカオーレン、タニウツギ、タムシバ、ベニサラサドウダン、ウラジロヨウラク、ユキザサ、チゴユリ、ゴゼンタチバナ、ミツバツチグリ、アカモノ等の群生多数。雪渓もあったが思ったより縮小されていてツボ足でOKだった。

山頂に着くと少しかすんではいたが飯豊連峰<sup>いいで</sup>、明日の守門岳も良く見えまらずの展望だった。鬼ヶ面<sup>おにがづら</sup>ルートから登ってきた方から「咲いていた」との情報。休憩後に15分だけ行ってみようと言うことになり下っては見たが発見できず。代わりにシラネアオイとオオカメノキの白い群生に出会う。

前岳まで戻り、嘉平ポッチに登る。ここからは緩やかな下山道となり、思ったほど滑らず「ほっ!」とする。北陸とは思えない真っ青な空、風も涼やかで歩き易い。

桜曾根広場に6/11に咲いていたとのロコミに期待しながら下山するもとうとう開花株に出会えずじまい。代わりにサンカヨウの群生が出迎えてくれた。下山後の駐車場は3台のみ。

ヒメサユリの開花株は期待外れだったが、高山植物の種類<sup>まさ</sup>の多さは翌日登った守門岳に勝っていた。しかしこの無念さは翌日の守門岳で一掃される。大逆転の歓喜が待っていた。(辻記)

【コースタイム】 晴れ 茅野発 5:00

09:30 ネズモチ平駐車場

09:45 ネズモチ平登山口

12:15 前岳

13:00 浅草岳

14:25 嘉平与ポッチ

15:20 桜曾根登山口

16:00 ネズモチ平登山口

ベニサラサドウダン



この日唯一の開花株 ヒメサユリ



イワカガミ



アカヤシオ



タニウツギ



ヒメサユリのつぼみ



アオキ?



ミツバツチグリ



田子倉湖



前岳



池塘



タチカメバソウ



ユキザサ



シラネアオイ



タムシバ



ミツバオウレン



チゴユリ



ゴゼンタチバナ



ツクバネソウ



アカモノ



ミツバツチグリ



マイズルソウ



エンレイソウ



サンカヨウ



ホウチャクソウ



【2日目 <sup>すもんだけ</sup> 守門岳】

5時に宿を出発。予想外の雨だったが駐車場へ着く頃には止む。6時半、5~6台車がある駐車場を出発。土留め付きの整備された階段の道が真っ直ぐの急登が続く汗ばむころ、赤土のえぐれた泥んこにかわる。追越して行く人の長靴はこんな道にぴったりだ。「地元の方ですか?」と声をかけてしまい、悪路と帰りの怖さの話に驚かされる。

若いブナ林から、落葉樹林にかわると、道のへりにイワカガミ、ミツバオウレン、ネバリノギラン、マイズルソウなど楽しませてくれる。大岳につく前にヒメサユリー輪見つけ、期待をふくらます。大岳から下りてきた人が、「この先にたくさん咲いている」とー！急げ！ニッコウキスゲも一緒に、雪溪の残った守門岳をバックに咲いてる！咲いてる！前に進めなくなる。

気持ちのいい稜線歩きで、<sup>あまぐもだけ</sup> 青雲岳へ。池塘にミズバショウが二株。ここで興奮をさますように大休止。守門岳では、<sup>いいで</sup> 飯豊連邦、<sup>ひらた</sup> 尾瀬燧ヶ岳など景色を楽しんですぐ引き返す。

帰りの登り直しも花を見ながら、苦にならず。日本海側では珍しいという好天の日になり、泥んこの道も乾き気味で順調に下る。二山はしごした山行は、頭が混乱する部分もあるが、きれいなヒメサユリに出会え、みんな大満足で帰途につく。(福田記)

【コースタイム】 小雨→快晴

06:30 保久礼<sup>ほっきゆうれい</sup>駐車場

07:20 キビタキ清水

08:35 天狗岩屋清水

08:50 大岳

10:20 青雲岳<sup>あおくも</sup>

10:55 守門岳

11:20 青雲岳

12:30 大岳

13:25 キビタキ清水

13:50 保久礼駐車場



「ワー！キャー！」 向かう下の方から叫び声が聞こえてきた。そらそら来ましたよ、来ましたよ、と踊り出す私の心。さっきまではあの昨日の浅草岳のヒメサユリ「絶対もう一度再挑戦して満開を見ずにいられるものか」と心をたぎらせていたのに 次第に今まで撮っていたヒメサユリの花たちには何なの？と恨まれそうなくらい次々と爛漫が現れ歩みは遅々として進まず・・ となって行く。もう唸るばかりです。こんなはずじゃなかったという今朝の出発シーン。突然の雨でのお見送りを受け登山口では レインウェアを履いての登山開始となったこの日。

よもやの期待が全くなかったわけではなかったが、この日も昨日同様 同じ登高時間と同じ標高でまるで再現ドラマばりにヒメサユリを一輪発見。今日の山行報告の代表写真も もしこれだったらまるでコピペだと思われそうな一輪でした。

赤土のドロドロの登山道も下山時には泣かされそうと登ったのに、帰りにはルンルン♪！「良かったね !!」の合唱がこだましたのでした。最高！守門岳滞在たった5分の付録 みたいな登山になるほどの圧巻の花々でした。(H.M 記)



ヒメサユリロード



タムシバ



青雲岳からの袴岳（守門岳）



ウラジロヨウラク



アカモク



オニアザミ



ミズバショウ



ツバメオモト



飯豊連峰



青雲岳・大岳



青雲岳からの袴岳(守門岳)



ニッコウキスゲ



タニウツギ



シラネアオイ

